

予算等審査 特別委員会

委員長 佐々木 真由美
副委員長 二宮 正太郎

本委員会は、全議員55人で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内で、各会計・費目ごとに一問一答形式で質疑を行います。
委員会は、2月27日から11日間開催され、延べ99人の委員が約42時間にわたり審査を行いました。主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

自由民主党

○学校納付金集金アプリの保護者への丁寧な周知と市内事業者の選定に向けた検討
○児童生徒が安心して学校で生成AIを活用できる環境を
○学校トイレ洋式化50%超の早期実現と進捗状況の公表を
内藤 良介 委員



政宗公没後400年の2036年を目指し大手門の復元と大河ドラマの誘致を

○仙臺緑彩館ですずめ踊りを
○半導体工場進出の課題と対応
○仙台工業高校に半導体学科を
加藤 和彦 委員

○ホテル不足の解消に向け、特色ある宿泊施設の創出を
○世界に誇れる東北の食を軸にした観光のプロデュース
○包括的な高齢者支援ができるアクティブシニアタウン
○半導体工場立地とイータウンを
野田 謙 委員

○物流業界の2024年問題への対応として、物流の効率化と道路整備を進めよ
○みやぎ環境税の見直しに向け、先手を打って県との議論を
○市政への理解と信頼を得いくため、市長自身が語り掛け職員へ不断の努力を促すべき
高橋 たくみ 委員

○森林環境譲与税を活用し、地域の森林組合等へ支援を。
○本市の食料安全保障の確保
○インシシ捕獲後の活動費支援と捕獲個体の一時保管対策
佐司 俊充 委員

○東北学院大学泉キャンパスの移転に伴う周辺地域の公共交通の確保について伺う。
○路線バスの減便、廃止の予測は難しいが、情報収集に努め交通事業者と連携を図る。
○秋保湯の橋と湯向交差点に信号を設置する等さらなる安全対策に取り組むべき。
湯の橋に係る必要な調査を行い、交差点内のカラー化や路面表示の強調等を進める。
ZEH住宅の普及促進
迅速な災害弱者への避難対策
不登校児童生徒の交通費支援
児童の杜の継続通級と転級
バス事故後の誠意ある対応
市の全窓口で「神対応」を
「災害文化」とは、災害そのものを受け止め、乗り越えていく文化と捉えてよいか。

日本共産党

○敬老乗車証制度の見直し中間案の利用者負担割合に対する意見のうち、約56%（70歳以上は約75%）が中間案より引き下げを求めている。一定の理解を得たとする市の姿勢は許されぬ。
○特別教室に業務用エアコンを
○体育館へのエアコン早期設置
高村 直也 委員

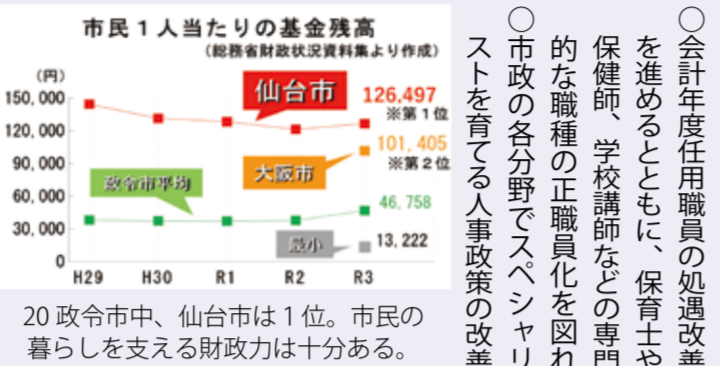
○独自新熱基準のさらなる充実に
○「フチフチ大作戦」の啓発
花木 則彰 委員

○成年後見制度では人権に配慮した見直しを国に求めよ
○緊急通報システムの制度拡充
○必要な市民が使用できる合葬式墓所の公募方法の実現
○子ども食堂等の居場所の拡大
吉田 こう 委員

○延べ面積2千平方メートル以上の全ての建築物にCASB E Eの書類提出を義務化せよ
ライフサイクルCO2の評価
断熱改修補助制度の経済効果
○発達が気になる児童生徒に、愛着の土台形成、生活の見直しを含めた教育や家族支援を
田村 勝 委員

○他都市に先駆けて取り組む
福田町エリアでの流域治水
推進モデル事業に係る施策
○県道塩釜亘理線の渋滞対策
○貞山堀への架橋の再検討
○岡田小学区の将来人口推移
菊地 崇良 委員

○いじめ防止等対策の推進
○児童生徒に十分向き合うため
教員の人員確保と環境整備を
○脱いじめ傍聴者教育の推進
子どもがいじめ相談・意見できる環境づくりを進めよ
○フードバンク団体への支援
いのまた 由美 委員



市民1人当たりの基金残高(総務省財政状況資料集より作成)

20政令市中、仙台市は1位。市民の暮らしを支える財力は十分ある。

公明党

○中心部震災メモリアル拠点に最先端の映像設備導入を。
○大学の専門家等と連携し、効果的な展示を検討する。
○建設予定の音楽ホールにおける芸術監督に久石譲氏を
町内会の行政業務の負担軽減
遠隔分身ロボットを活用

高見のり子 委員

○仙台市域への権限移譲や特別自治市制度の導入を
○県と権限移譲の協議を継続するとともに、特別自治市の法制化に向け、国への本市独自要望に加え、指定都市市長会と連携を強め取り組む

仙台維新

○仙台子ども財団は子育て支援の実態を調査研究すべき
令和5年度にアンケート調査等を実施した。財団では子ども施策などに寄与する調査研究テーマの検討を進めている。
仁平 寛子 委員

市民の会

○市長の掲げる「科学技術を生かしたまちづくり」には、実質的な拠点と体制が必要
リニューアルを機に科学館を学都仙台の多様な機関との連携拠点として機能強化すべき
大草 よしえ 委員



EV車の消火に有効な電気自動車隔離システム

市民フォーラム仙台

○奨学金返還支援事業で高校生を対象とするのが困難であれば、通年の制度化を求める。
これまで制度化を利用した方等から意見も伺いつつ、より効果的な事業を目指し検討する。
○歳入増に向けた各種基金運用
○人口減少を見据えた学校施設と地域施設との併設削減
○教職員の時間外労働削減
安孫子 雅治 委員

○仙台赤十字病院と東北労災病院移転後の住民が不安のない地域医療確保は、立場を明確にしている。本市の立場を明確にして県との協議に対応せよ。
○民間の力を借りたマゼンタで青葉山エリアから西公園、定禅寺通まで、回遊性を意識して整備すべき
二宮 正太郎 委員

○指定管理者制度の在り方検討
○令和6年度工事予定の市立学校体育館へのエアコン設置を

今後、他都市の事例等も参考にしつつ、福祉など他分野との協働の在り方も含め、研究していく。
沼沢 しんや 委員

○市立学校増設中の児童生徒の運動環境確保および改修中の学校体育館の避難所機能
○消防団機械器具置き場への情報収集用テレビの配備を
○消防団全車両のカラー化設置が15年後となる計画の再検討
貞宗 けんじ 委員

○市立学校増設中の児童生徒の運動環境確保および改修中の学校体育館の避難所機能
○消防団機械器具置き場への情報収集用テレビの配備を
○消防団全車両のカラー化設置が15年後となる計画の再検討
貞宗 けんじ 委員

令和6年度 市税の内訳

税目	当初予算額(百万円)	構成比(%)	対前年度比(%)
市民税	108,899	47.7	97.8
固定資産税	85,480	37.4	103.8
軽自動車税	2,072	0.9	102.7
市たばこ税	8,257	3.6	102.7
鉱産物税	4	0.0	133.3
入湯	195	0.1	114.7
事業所税	5,803	2.5	101.3
都市計画税	17,762	7.8	104.5
合計	228,472	100.0	100.8

令和6年度 各会計別歳出予算総括

区分	当初予算額(百万円)	対前年度比(%)
一般会計	648,053	105.4
都市改造事業	801	79.9
国民健康保険事業	92,416	98.2
中央卸売市場事業	4,461	142.4
公共用地先行取得事業	817	87.8
公債管理	115,590	95.3
母子父子寡婦福祉金貸付事業	238	89.2
新墓園事業	697	96.4
介護保険事業	87,011	102.9
後期高齢者医療事業	15,964	111.9
小計	317,995	99.3
下水道事業	70,334	104.0
自動車運送事業	14,624	99.5
高速鉄道事業	40,930	110.1
水道事業	50,703	102.3
ガス事業	56,894	90.9
病院事業	24,047	107.3
小計	257,532	101.4
総計	1,223,580	102.9

令和6年度 一般会計歳入予算科目別内訳

科目	金額(百万円)
市民税	24,086
固定資産税	54,680
軽自動車税	1,588
市たばこ税	8,257
入湯	195
事業所税	5,803
都市計画税	17,762
雑収入	36,934
地方交付税	29,763
国庫支出金	123,240
県支支出金	31,713
使用料および手数料	15,596
雑入金	53,598
繰入金	29,431
環境費	20,583
経済費	29,431
土木費	65,044
消防費	17,270
教育費	116,123
公債費	59,064
災害復旧費	1,438
諸支出金	9,810
予備費	300
議会議費	1,588
総務費	54,680
健康福祉費	248,636
総額	648,053

○子ども笑顔が生まれる地域づくりにプレパーク普及を
○仙台駅東地域の整備や活性化にふさわしい組織的対応を
○歳入増に向け、積極的ふるさと納税等の手段を活用せよ
渡辺 博 委員

○YouTube 広告枠を活用したふるさと納税促進で歳入増を(写真は返礼品の一例)

今後、他都市の事例等も参考にしつつ、福祉など他分野との協働の在り方も含め、研究していく。
沼沢 しんや 委員